



第97号 2011年1月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

主な目次

城下町萩のひみつ⑥ 災い	P4
ズームアップ 三留理男(東京都)	P6
元気企業探訪21 忠小兵衛蒲鉾本店、道の駅・萩往還(萩市)	P8
懐かしい店 岡村蒸気まんじゅう	P11
夢追人 萩焼新進作家・金子愛(萩市)	P12

日本と韓国の海岸線にのみ自生するやぶ椿。笠山の北端、虎ヶ崎に位置する笠山椿群生林のやぶ椿は、10haに25,000本と日本有数の密度。さらに木の高さが6～7mもあり、自生ならではの圧倒的な存在感。

冬から春にかけての観光スポットで、2月19日(土)から3月21日(月・祝)まで椿まつりが行われる。期間中の週末には、椿みどころ案内人による無料ガイドや椿小町の案内、呈茶席などもある。10年写真コンテスト入選作 黒木丸生(下関市)

萩・椿まつり

群生木椿



萩 みどころ 紹介

2010年、萩に新たな魅力・話題ある施設などがオープンしました。では、萩の見どころをご紹介します。

萩往還の起点「唐樋札場跡」

4月28日 復原
(唐樋町、田町商店街入口)

高さ5.6mの全国でも最大規模の高札場を約140年ぶりに復原。藩政時代には、庶民に藩の掟や法度を知らせる高札場や番所がありました。



道の駅「萩・さんさん三見」

4月3日 オープン (三見明石)

萩・三隅道路の明石パーキングに、市内7か所目(一つの自治体としては全国2番目の数)の道の駅がオープン。日本海を臨む風光明媚な景観が楽しめます。



萩・長門峡観光遊覧船

11月1日 運航開始 (川上)

川上地域の観光ワンプログラムとして、阿武川ダム湖の湖面から景観を眺める遊覧船が運航。11年は4月から11月に運航します。



道の駅「萩往還」

10月15日 リニューアルオープン(椿)

3月に萩と旭を繋ぐ萩有料道路が念願の無料化。萩観光の玄関口に、和・洋食レストランや農産物直売所が完成しました。



県立萩美術館・浦上記念館に「陶芸館」

9月11日 オープン (平安古町)

萩焼発祥の地「萩」に、陶芸を専門的に収集・展示する「陶芸館」が開館。「三輪休雪のかたち」を展示中。



新春のごあいさつ

萩ネットワーク協会会長
萩市長 野村興兒

旧年は、尖閣諸島の領土問題
更には外交・防衛などの国の基本
にかかわる事象の問題が続出し、
経済もデフレ基調の中で先行きの
不透明感が強い状態です。

昨年末のNHK歴史ドラマ「坂
の上の雲」で描かれた、列強の強
圧の中で苦勞を重ねながら新しい
国を形成していく、明治政府の若
き群像と重ね合わせてご覧になら
れた方も多いと思います。

地方も多くの課題・問題が山積
してありますが、家族の絆も、地域
の連帯もまた強く、地域は地域で
守ろうとの自治の気概も旺盛です。

陸路の整備は、藩政時代の「萩
往還」や昭和初期からの鉄路の「小
萩線」建設運動の故事からも明ら
かなように、萩の悲願でした。そ
の願いを実現する「小郡・萩地域
高規格道路」が一部ではあります
が、いよいよ開通します。平成6
年に期成同盟会を立ち上げ、萩市
が中心となって整備促進の運動を
続けてきました。この1月末、秋
吉台インターチェンジ(IC)の開
設、5月には絵堂ICが供用開始と
なります。中国縦貫道と接続し、
高速道を通して各地との時間距離

が相当短縮されます。
今ひとつは山陰自動車道です。
その一翼を担う萩・三隅道路も、
秋の国体までには、明石・三見
三見く椿の2区間が同時に開通す
る予定です。今後も引き続き、両
道路の全線開通に向けて頑張りま
しょう。

昨秋、日本経済新聞の何でもラ
ンキングの特集の中で「散策した
い歴史のまち」のナンバーワンに
萩が選ばれました。このような企
画では、いつも上位となる飛騨高
山、倉敷を抜いて全国一となりま
した。「萩まちじゅう博物館」も
全国規模で知られるようになりま
した。

本年はいよいよ山口国体の開催
年。今秋は柔道をはじめ4種目と
スポーツ行事としてグラウンドゴ
ルフが展開されます。引き続き開
催される全国障害者スポーツ大会
とも併せ、全国から訪れる選手お
よび関係者の皆さんを萩のおもて
なしの心で歓迎したいと思いま
す。

末尾になりましたが、本年の皆
様のご多幸をお祈り申し上げ新年
のご挨拶といたします。



3月21日
開館!

新萩図書館・児童館

萩 あいふらり

現在の図書館（江向）隣りに建設中で、県内最大級の児童館を併設し、年中無休で、午前9時から午後9時まで開館します。中央公園そばにあり大空に広がる大屋根と、天井の高いひろびろとした空間が特徴です。



3月19日
オープン

見島ふれあい 交流センター

現在の見島総合センターは、急な坂を上った傾斜地にありましたが、本村の定期船乗り場から徒歩約2分の場所へ新築移転します。支所と公民館が一体となり、地理的にも平坦なので足を運びやすく便利になります。体験宿泊コーナーや、見島の郷土や歴史を紹介するブースも設けます。



3月20日
完成!

大島小中学校 新校舎

大島中学校の敷地内に、小中学校併設の木造2階建ての新校舎と、大島保育園、共同調理場が完成します。完成の暁にはここが“日本一元気な島・大島”の教育の中心となることでしょう。

高杉晋作立志像



11月31日 晋作公園に建立（呉服町）

生誕の地・萩に初めて、晋作の銅像が晋作広場に完成。除幕式にはNHK大河ドラマの高杉晋作役、俳優の伊勢谷友介も参列。今では写真撮影ポイントになりました。

◎市外からきた志士の銅像

初代内閣総理大臣

伊藤 博文
(1841 ~ 1909)



2代目の陶器の像。初代は兵庫県神戸市の湊川神社にあった

▷伊藤博文旧宅地（椎原）

初代兵庫県知事を務めた伊藤の銅像は、兵庫県神戸市の湊川神社に建立されましたが、明治39年、日露戦争のポーツマス条約に反対する民衆によって銅像は引きずり落とされました。その後、萩に移されましたが戦時中の金属供出で失われ、台座のみ残りました。昭和39年、椎原の伊藤博文旧宅地に、陶芸家、中野霽林制作の萩焼の陶像が復元されました。台座は以前のもの。

近代陸軍制度を創設

山県 有朋
(1838 ~ 1922)



東京指月会の要望で、東京都武蔵野市の井の頭公園から

▷中央公園（江向）

平成4年6月、山県有朋公の銅像が、東京都井の頭公園からふるさと萩へ移設されました。馬に乗った軍服姿で、台座を含めると約6m。長崎の平和祈念像を制作した彫刻家、北村西望の作品で、芸術的価値が高いと戦後も壊されませんでした。東京指月会の皆さんから“帰郷”を望む強い要望があり、里帰りを実現。今では中央公園のシンボルとなっています。

首相を三度務め、拓殖大学創設

桂 太郎
(1847 ~ 1913)



拓殖大学が校内の原像を複製し創立100年を記念して寄付

▷桂太郎旧宅（川島）

総理在職2,886日の長期政権記録を持つ桂は、人材の養成にも力を注ぎ、1900（明治33）年、現在の拓殖大学にあたる台湾協会学校を創設しました。拓殖大学が創立100年を記念して2000（平成12）年、川島（藍場川沿い）の桂太郎旧宅に建立しました。高さ約2m。旧宅には、画家・黒田清輝によって作成された肖像画と、中曽根康弘が校歌を揮毫した石碑もあります。

城下町萩のひみつ

6

江戸時代起源のまちが壊されなかった理由 キーワード④ 災い

大きな災いを

被らなかつた城下町

萩は、江戸時代の城下町絵図を、そのまま地図として用いることができる「まち」です。

それは、江戸時代の城下町が、大きく壊されることなく今に伝えられていることを意味します。

前回は、「鉄道」が萩三角州を迂回敷設されたことにより、結果として三角州内の城下町に、構成を壊すような変更がもたらされなかつたことを紹介しました。

今回は「災い」をキーワードに、城下町が今に伝えられたひみつに迫ります。

萩の「まち」では、人工の溝川

による三角州内の排水や、洪水時に遊水池となる広い低湿地が維持

されたことにより、また城下の人たちの組織的な水防活動などにより、「まち」が壊滅するような大水害を受けませんでした。何もかもを焼き尽くすような火災もなく、震災も受けませんでした。

そしてもう一つ、「まち」が守られた大きな要因としてあげることができるのは、戦災を被らなかつたということです。

萩は空襲を受ける可能性があつた!?

第二次世界大戦中、日本の多く

SECRET

61. Hitachi	91. Imberri	121. Mihama	151. Itami
62. Nobokko	92. Matsue	122. Kamaiishi	152. Kudamatsu
63. Oita	93. Nunazu	123. Kawanana	153. Mishima
64. Nagano	94. Ujiyama	124. Kamakura	154. Miyoko
65. Hachinohe	95. Uwajima	125. Okaya	155. Saeki
66. Matsumoto	96. Odawara	126. Izosaki	156. Shinjū
67. Takasaki	97. Konatsu	127. Tsuyama	157. Soji
68. Ichinomiya	98. Hiroseki	128. Ashiya	158. Hanada
69. Yamagata	99. Iwakuni	129. Ithara	159. Kurashiki
70. Ten	100. Funabashi	130. Tokuyama	160. Sakata
71. Shinjū	101. Soga	131. Kawajō	161. Fuchikichiyama
72. Otsu	102. Higashimurayama	132. Yamaguchi	162. Yawatahama
73. Nagasaki	103. Tottori	133. Fujisawa	163. Tsuruga
74. Miyazaki	104. Handa	134. Obihiro	164. Karatsu
75. Mito	105. Kusagaya	135. Senjō	165. Takayama
76. Suita	106. Yonozawa	136. Ishinomaki	166. Tohigi
77. Boppo	107. Ōmachi	137. Higa	167. Shimbara
78. Kushiro	108. Ashikaga	138. Tachikura	168. Nagai
79. Hachioji	109. Fukushima	139. Hikone	169. Taira
80. Nara	110. Wakamatsu	140. Tsuruoka	170. Nense
81. Choshi	111. Akashi	141. Kdaco	171. Maizuro
82. Onya	112. Yonago	142. Tsumo	172. Kashiwazaki
83. Uruwa	113. Wogata	143. Matsuzaka	173. Sumoto
84. Takasaki	114. Hizuka	144. Ueda	174. Hakata
85. Bofu	115. Kishiwada	145. Shikuma	175. Kainan
86. Miyakonojo	116. Onoda	146. Kawachi	176. Tatoyama
87. Ichikawa	117. Soto	147. Noshiro	177. Iida
88. Koriyama	118. Toyonaka	148. Tachikawa	178. Marugame
89. Fukuyama	119. Ishaya	149. Mishiho	179. Tajimi
90. Ogaki	120. Hiratsuka	150. Yetsushiro	180. Atami

It will be noted that of the first nine listed, three (Yokohama, Kobe and Kawasaki) had already been destroyed by previous attacks (Missions #186; #26, #3 and #188; #68), one (Nagoya) was not worth further incendiary attack having been attacked five times previously (Missions #17, #1, #4, #174, #176), two (Tokyo and Osaka-Kansai) needed only one more maximum effort attack each, having been hit five and four times respectively (Missions #38, #5, #7, #81, #83; #62, #87, #89, #203), and two (Kyoto and Hiroshima) were out of bounds by direction of high authority.

4. Of the remaining 171 cities, two more - Niigata and Kokura - were also out of bounds.

5. This left 169 cities, of which 17 were north of 39 degrees latitude and could not be economically attacked because of the range involved, until two came into use as a staging base. Those 17 cities were:

SECRET

写真① 戦後明らかにされた米空軍の資料

の都市は、米軍による爆撃によって破壊されました。しかし萩の「まち」は、幸いなことに空襲を受けませんでした。そのことにより、城下町を起源とする「まち」は、フルセットといえるほどの城下町の要素を、今に伝えることができたのです。

実は、これまでほとんど知られていませんでしたが、萩は場合によっては空襲を受ける可能性があつたのです。

写真①は、戦後明らかにされた米空軍の資料です。

戦争の末期、日本の主要都市や軍事拠点をほぼ破壊し終えた米軍は、続いて日本の中小都市の爆撃を計画します。戦争の継続を、より困難にするためです。

米軍では、爆撃計画を立案する際に、人口などを基準に日本の180都市を目標としてリストアップします。その都市の中の157番目に萩があげられていたことを、この資料は示しています。

180都市のおよそ3分の2が、戦争終結までの間に爆撃を受けました。もし、戦争が長引けば、目標にあがっている萩も、当然のことながら攻撃されたと考えられます。しかし戦争終結により、機雷投下や艦載機による機銃掃射などはあ

りましたが、萩は爆撃を免れました。写真②は、米軍の偵察機が撮影した航空写真です。大変に鮮明なこの写真は、昭和20年(1945)4月13日、萩三角州上空3万2000フィート、1万メートル近い高空から撮影されたものです。

萩三角州の本格的な航空写真としては、おそらく初めてのものです。

町人地には葺が連なり、かつての広い武家屋敷地には、区画をそのままに夏みかん畑の緑が広がっています。三角州の中央辺りの低湿な一帯には、広々とした農地が広がっています。江戸時代の城下町絵図そのままの構成の「まち」を確認することができます。

戦による「災い」を受けなかつたことにより、この類稀な萩の「まち」の歴史的環境や自然環境は守られたのです。

城下町萩を未来に

①萩三角州「低湿地」を開発して「まち」の近代化を図られたこと、
②武家屋敷地が「夏みかん」畑として利用し続けられたこと、
③近代化の象徴である「鉄道」が三角州を迂回して敷設されたこと、
④そして戦災など大きな「災い」を被らなかつたことなどにより、萩の「まち」が守られたことを紹介してきました。

これまで萩の人々は、城下町を起源とする「まち」を、当たり前のように住みこなしながら保全してきました。まるで何者かの計らいであるかのような偶然もありましたが、「まち」の魅力は今に伝えられています。そして、萩の人々は、今もこの「まち」を誇りにし続けています。

しかし、世の移り変わりと共に、「まち」が次第に変容しつつあるのも事実です。変わることは、ある程度やむを得ないことかもしれませんが、萩らしい変わり方はあるように思います。

今回の「城下町のひみつ」連載が、萩の未来に思いを巡らせていただくきっかけとなれば幸いです。

なお、米空軍の資料や戦時中の米軍撮影航空写真の存在は、徳山工業高等専門学校の上藤洋三教授の調査研究によって知ることができました。資料類も上藤教授の計らいで入手することができました。記して御礼を申し上げます。

萩博物館統括学芸員 清水満幸

戦争末期に米軍の偵察機が撮影した航空写真
〜蘇三島州の初めての本格的な航空写真! (1945年4月13日)



萩商工ラグビー部 9年連続17回目の 花園へ!

12月15日壮行式



萩商工ラグビー部は、11月21日、山口県大会決勝で、52対10で大津高校(長門市)を下しました。総合力に勝る萩商工は前半から積極的な攻めを展開、終始試合の主導権を握り、9年連続17回目の花園行きを決めました。全国大会1回戦は、12月27日(月)、岩手県代表の黒沢尻工業高校と対戦。



大島佑二郎主将(3年生、萩東中卒)は「相手は強豪チームだが、絶対に勝ちたい」と初戦必勝を誓う

萩高の森田くん 柔道で全国2位に

9月18、19日、埼玉県で開催された20歳以下の日本チャンピオンを決める「全日本ジュニア柔道体重別選手権大会」の55kg級で、森田恭生(やすお)さん(萩高校3年、萩東中卒)が準優勝しました。



阿武町 ふるさと彩時記 ふるさとの オリジナル カレンダーを 全国に発送!



在庫はわずかです。購入を希望される方は1部500円(送料込)で販売しますので、阿武町役場総務課(08388・2・3111)までお早めに。

「阿武町・宇田郷が亡き父の故郷ですが、幼い頃遊びに行っていた思い出が、カレンダーの絵から飛び出して来るような懐かしさを感じております。過ぎ去った年のカレンダーの写真は切り取って壁に貼って眺めることもあります。今後も素敵なカレンダーを作ってください」。これは、町が制作している「阿武町ふるさとカレンダー」を購入していただいている町出身の方からのご意見です。

ふるさとカレンダーは、町民の方には町の良さを再発見、全国の町出身者の方には、ふるさ

と阿武町のことを懐かしんでいた。ただこうと毎年制作しているもので、今回が21作目。平成23年版は、「ふるさと彩時記」をテーマに阿武町の、とっておきの阿武町で、きれいな風景写真を中心にあたたかで心のなごむ写真を掲載。今回は、阿武町の写真愛好家が集まって結成したあぶフォト倶楽部の会員が撮影した選りすぐりの写真と阿武町俳句協会の会員が制作したすばらしい俳句を掲載しています。12月、町内の全世帯と全国から予約のあった約400人に発送しました。

萩高出身の報道カメラマン



近影(撮影・浮ヶ谷泰)

みとめただお
三留理男さん

(東京都在住、72歳)

つもりなので、不必要な危険はできるだけ避けていたが、それでも弾は飛んでくる。

取材する立場の人間がこんなに物々しい格好で現場に出て行くことに抵抗があるのだ。取材相手は身を守る装備がないわけで、そうした人たちを撮影したり、インタビューするのに、ヘルメットと防弾チョッキはいかにも失礼だと思うのである。

1960年〜70年代の安保闘争や三里塚の時代を通して多くの文化人と知り合われましたが、なかでも盟友とも言える作家の小田実さんとのつき合いは？

僕と作家の小田実は1970年代、アジア人会議の参加者を募るためもあって、しばしば一緒に海外へ出た。何か月もアジア諸国を放浪したり、車でアメリカを横断したり。僕より6歳年上の小田は、70年代最高の盟友だった。

仲良くなったのは、たしか73年ごろ。小田が東京から神戸へ引越す際、僕が小型トラックの運転をしながら、長時間話をしたのがきっかけだ。以来、僕と小田の旅が始まる。タイ、フィリピン、インド、アフガニスタン、アメリカ、ボリビア……。ずっと一緒だから、身の上話は飽きるほど聞いた。

国連が恒久ドカード発行した世界でも数少ないジャーナリスト(カメラマン)。最近出版された写真集「イサーン 目撃したバンコク解放区」、毎日新聞日曜くらぶに連載中の「目撃された戦後 報道カメラマン三留理男」をもとに三留さんにお話を聞きました。

今年春取材され、写真集にもなったタイの首都バンコクでの取材に

ついてお聞きします。

5月13日には、私の目の前にいたUDD幹部のカティヤ少将が狙撃され、亡くなっている。夕方6時半過ぎ、薄暗くなってきた時間帯に、ルンピニ公園でニューヨーク・タイムズの記者と一緒にインタビューしていた。私と少将との距離は50センチほどだったが、彼は一発で眉間を撃ち抜かれ、ほぼ即死だった。犯人はよほど優秀な

狙撃手だったのだろう。

この騒乱を取材しようと世界各国からやってきたジャーナリストのほぼ全員が、ヘルメットと防弾チョッキに身を固めていた。流れ弾はどこから飛んでくるか誰にも予測できないのだから、とりあえず我が身を守りたいという気持ちで理解できないわけではない。

私はヘルメットも防弾チョッキも身につけなかった。死にたいわけではなくもう少しは長生きする

プロフィール

1938(昭和13)年、日本の植民地だった朝鮮半島生まれ。72歳 報道写真家。

58(昭和33)年秋高卒業、日本大学芸術学部中退。在学中に写真集「小児マヒの記録」(法政大学出版局・61年)を発表。以後、アジア・アフリカを中心に取材を続け、82年、「国境を越えた子供たち」(集英社)をはじめとする一連の作品によって第三世界の国境線上の状況を広く伝えたことで「第1回土門拳賞」を受賞した。88年、長期にわたるアジア・アフリカ取材活動に対して「第4回アジア・アフリカ賞」受賞。97年、「辺境の民 アジアの近代化と少数民族」(弘文堂)で「第9回アジア・アフリカ賞特別賞」を受賞。88年より毎日新聞社特別嘱託。

現在、毎日新聞日曜くらぶにて「目撃された戦後 報道カメラマン三留理男」を連載中。

地を這う視線で 撮り続けた真実



●写真集「イサーン 目撃したバンコク解放区」

2010年春、タイ・バンコクで行われ多数の死傷者を出した反政府デモ。バリエード内で撮影した衝撃のカットの数々などで伝える全貌と背景。(毎日新聞社、2940円)

小田は女性にもてた。顔が怖い印象もあるが、時たま「にっこ」と、えもいわれぬいい笑顔を見せる。僕の妻いわく「あれで女の人はこちらつとくわよ」。

宿泊や移動のほかは主に別行動。彼の取材手法は僕と逆で、一番上から攻める。たとえば、パレスチナならPLOのアラファト議長から。そこから最下層のスラムまで行き着く。「途上国では国一番の高級ホテルに泊まるとその本質が分かる」とも言っていた。他方、新しい街に着くと必ず1、2時間はほつき歩き、大体を把握した後でないで寝つかない。

萩高時代に知り合われたカメラの恩師とも言える角川政治さんとの思い出は？

父親の旧友(上野康貴さん)が校長だった山口の県立萩高校へ移った。下宿の斜め向かいが角川写真館という店で、店主の角川政治は戦中、朝日新聞の従軍カメラマンとして活躍した人だ。彼の戦場写真、構図が躍動的で非常に面白い。角川は後年、萩の町並みの写真集も出している。

「カメラマンになるために大学に入りたくて、萩高に通っているんだ」。すると、角川は「じゃあ、うちに遊びに来いよ」。うれしかった。

た。大人に写真で何かに誘ってもらえるなんて初めてだったから。毎日、この店に入り浸った。角川は外へ撮影に出たいので、すぐ店を留守にする。この店の現像も焼き付けも、ほとんど僕がやった。おかげで腕もあがる。

コンクールに応募してみたら、角川の指導のいかにもあつてか入賞した。「山寺の学生僧」という題で同級生を撮った組み写真だ。その後も次々とコンテストで入賞。こうして58(昭和33)年春、日芸芸術学部写真学科に進学した。写真の腕による推薦入学である。

三留さんの萩高時代の同級生・藤原弘毅さん(唐樋町、好日館)に聞きました。



——高校当時はどんな生徒でしたか？

真面目な生徒ではなかったですね。ブーツ風の短靴を履いていて、カメラを必ず持つて、変わった学生でした。試験勉強なんかしなくて、町なかを写真撮って歩いていったんじゃないか。2年の時に転校してきて、一緒に卒業しました。

三留が下宿生活だったから、

うち(好日館)に晩ごはんをよく食べにきた。当時から「写真が好きだから、東京に行つて写真家になるんだ」と言っていた。やる気になれば何でもやる、誰が何と言おうと貫く強い意志を持つてる人。今春のバンコクでの撮影でも、怖がってたらでさなからね。

——卒業後の付き合いは？

卒業以来、萩には1回位しか帰つてないんじゃないかな。82年に土門拳賞をもらった時に、同級生を30人位集めて祝賀会をやりました。仕事で世界を飛び回っているの、たまに電話で話したり、写真集を送ってくれます。

2008年に同期生(10期、58年卒)の卒業50年企画として、萩高での講演会を計画しました。現役の萩高生に難民の話などしてもらいたかったけど、それが実現できなかったことが残念だね。

演歌歌手 松前ひろ子さん

萩を題材にした新曲 「萩みれん」を発売!!

平成17年に萩観光大使に認定された演歌歌手の松前ひろ子さんが、1月12日に萩を題材にした新曲「萩みれん」を全国発売します。

歌詞中には、「藍場川」、「鍵曲」、「菊ヶ浜」、「鶴江の渡し舟」、「指月山」など萩市内の観光地が出てきます。また、市内各所でプロモーションビデオ等のロケが行われ、

カラオケのバックにも使われます。全国のカラオケの画面で城下町や武家屋敷、菊ヶ浜、指月山など萩の観光地等を見ることが出来ます。

新曲発表を記念して、1月29日(土)に萩市民館大ホールでコンサートが開催されます。

◆松前ひろ子プロフィール

北海道上磯郡知内町出身。作曲家の中村典正氏の妻で、一男二女の母。趣味は相撲観戦など。いとこである北島三郎氏の内弟子として修行後、1969年にレコードデビュー。ヒット曲は「祝いしぐれ」、「初孫」など。2005年に萩観光大使に任命。2008年に「国東半島」を発売、松竹映画「釣りバカ日誌19」で主人公・浜ちゃん役の西田敏行氏が同曲を熱唱し、話題に。



作詞 麻こよみ
作曲 中村典正
編曲 伊戸のりお

支えを失くした この胸に
せせらぎしみます 藍場川
きつとあなたを 忘れると
何度も何度も 決めたのに…
別れてひとり 萩の町
女の弱さか また泣ける

伝統を守りつつ、次の世代に…

有限会社 忠小兵衛蒲鉾本店



ゆず巻き 630円(税込)

安政二年(1855)に創業し、十三代萩藩主毛利敬親公の御用を勤めて以来、代々家業を継ぎ、研究を重ね、現在の焼板蒲鉾の元祖を作り上げた忠小兵衛蒲鉾本店。伝統ある家業の八代目として現在修行中の長谷朗さん(21歳)に、

昨年開催された第42回山口県水産加工展品評会で農林水産大臣賞を受賞された「ゆず巻き」のことを含め、お話を聞きました。

父の死

創業155年の歴史を誇る忠小兵衛蒲鉾本店の七代目である父・俊次の次男に生まれ、高校を卒業し大学に入学するまでは、家業について深く考えることもなく、当

ゆず巻きは 宿泊施設の依頼から

昨年、第42回山口県水産加工展品評会で農林大臣水産大臣賞をいただいた「ゆず巻き」は、当初販売目的ではなく、市内宿泊施設の料理長から、その宿泊施設が裁

培している柚子を使った蒲鉾を朝食に提供したいという依頼を受け、工場長が研究に研究を重ね開発した商品で、その宿泊施設の朝食と施設内の売店で販売するだけの限定商品でした。その後、いくつかの物産展でゆず巻きを紹介すると、多くの方から好評をいただき、本格的に販売することとなりました。季節物なので季節限定ですが、現在、関東ではスーパー紀ノ国屋に置いてもらい、農林水産大臣賞受賞以来、デパートを中心に卸させてもらっています。また、直接発注してくれるリピーターの方も増えており、発売1年目にして、注目を浴びる商品となりました。

次の世代へ

代表取締役就いてもらっている母をはじめ、私の家業を継ぎたいという意志を理解してくれた家族、そして従業員皆さんに支えてもらいながら現在修行させてもらっていますが、この先々、社長業をもこなし、この忠小兵衛蒲鉾本店を次の世代に繋げていくよう務めなくてはなりません。そのため、初代より守り続けた伝統を継続しつつ、変わり行く時代にあつたことにも挑み、対応していかなくてはならないと考えます。今までは、良質の蒲鉾を製造し、販売することがすべてでした

が、今後は、忠小兵衛蒲鉾本店を訪れてくれるお客様一人一人に楽しんでもらい、「萩に来て良かった。」「また萩に来たい。」と思っただけのような接客をし、1つの観光地のような店造りをしていきたいです。観光立市である萩、地元のお陰で弊社があるということに感謝し、その萩市のパワーの一部となり、萩市、萩に住む方々と共に成長していきたいです。そして、次の世代に忠小兵衛蒲鉾本店を繋げていきたいです。



★「ゆず巻き」2本セットを10名様にプレゼント。

(有)忠小兵衛蒲鉾本店

本社/萩市椿陣ヶ原 2757-1

TEL/0838-22-0457

営業時間/8:30~18:00

駐車場/乗用車17台、バス3台

特産品販売所「物産館」

萩を代表する加工業者各社の最高級品を取りそろえられた特産品販売所で、ラインナップは、山の幸、海の幸豊かな萩らしく、夏みかんの加工品、地酒、醤油、見蘭牛、むつみ豚、地魚の一夜干し、しそわかめなどの食品や、歴史の街らしく萩焼をはじめとする伝統工芸品などなど。一見、他の特産品販売所と変わりないではないかと思われるかもしれませんが、実は、店内所々に一般には卸売をしていない商品や、市内では業者直売のみであった商品が存在します。その中でも、本家店頭でも購入が難しいと言われる光國本店の「夏蜜柑丸漬」や、関東では幻の日本酒とも言われる澄川酒造の「東洋美人 吉番纏 純米大吟醸」など、滅多にお目にかかれないものには「おっ！」と驚かされます。

「萩は歴史のある街で、創業100年を超える多くの加工業者が伝統的な製法を守りつつ、現在も新たな商品を生み出しています。地元の人にとっては日常的な品々も、国内で唯一無二の高度な技術で仕上げられた伝統工芸品や、品質・鮮度にこだわった食品を、観光客、地元の皆様で紹介できるように努めています。」と駅長の篠原充さん。

財布と相談せず買いたくなる…、いや、買うべきだという衝動に駆られるような、魅力のある特産品販売所です。

◎道の駅・萩往還

萩市大字椿子鹿背ヶ坂1258

☎0838・225・9889

営業時間…9時～18時



東洋美人 吉番纏 純米
大吟醸 720ml 3675円

夏蜜柑丸漬 1155円



見蘭牛のステーキ丼

大盛況！道の駅・萩往還

昨年10月13日にリニューアルオープンし、多くの観光客が来場する施設となった道の駅・萩往還。既存の松陰記念館を中心に、新しく農産物直売所「野菜まあと」、特産品販売所「物産館」、見蘭牛ダイニング玄、うどん茶屋・橙々亭、テイクアウトコーナーが新設されました。その中でも、売り切れ続出で、観光客はもとより地元の方からも注目を浴びる2店舗を紹介します。

見蘭牛ダイニング玄(げん)

見蘭牛といえば、(株)みどりやが、日本最古の純血和牛「見蘭牛」を品種改良し、県内はもとより全国区でも名を馳せるブランド牛。見蘭牛ダイニング玄は、そのブランド牛「見蘭牛」の料理を食べることのできる(株)みどりや直営のお店です。(株)みどりや直営の飲食店としては焼肉の炭焼きレストラン見蘭に続いて二店舗目。炭焼きレストラン見蘭は夜を主体とするのに対し、玄は道の駅内の施設ということで、お昼のランチを主体としたお店。気軽に見蘭牛の料理を食べてもらいたいというコンセプトのもと、メニューは、ハンバーグ、井をメインとした構成。また、お洒落に食事を楽しんでもらいたいと店内レイアウト、井の器にもこだわっておられます。価格もブランド食材を使用している

のにも関らずコンセプト通り、気軽に注文できるように設定されており、観光客のみならず地元のお客さんも気軽に通えるもの。ランチのお客さん以外に人気で売り切れ続出なのが、店頭で販売されているテイクアウトメニュー『見蘭牛コロッケ』。店内メニューも含め、全て手作りなので、生産が追いついていないとのこと。更に、その通常メニュー以上に、直ぐに売り切れとなるのが、二ヶ月に一度、70食限定で販売される『見蘭牛』のハンバーグ『極』。お目にかかることができれば迷わず注文したい一品です。

「見蘭牛を色々な形で、美味しく食べていただけるように、新しいメニューを常に考案しております。この冬には一人モツ鍋ランチを提供いたします。」と(株)みどりや常務取締役・藤井治雄さん。

ブランド力に加え、需要と供給のバランスにそぐわない価格。飽くなき新メニュー考案。注目の人気店であるのも頷けます。

◎見蘭牛ダイニング玄

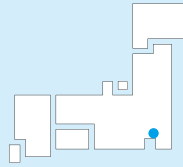
道の駅・萩往還内

☎0838・251・1113

営業時間…11時～14時30分(ラストオーダー14時)、16時～18時30分(ラストオーダー18時)

定休日…火曜日

同窓会だより



情報
ください!

「クラス会をいつ、どこで開催します」という情報をお寄せください。萩の資料送ります。投稿記事も歓迎します。
hagi-network@city.hagi.lg.jp

東京須佐弥富会

11月20日
東京高輪「和彊館」(東京都)

東京須佐会として出発いたしました故郷会も、新・萩市となり須佐・弥富両地区の絆を深め、更なる発展をめざして『東京須佐弥富会』と改称することをお願い致したく存じます。併せて、全ての会員の皆様が「あなたが必要とされている」ことに思いを寄せて頂き、何はともあれ先ずご出席下さるよう望んでやみません。同郷という誼で結ばれるお互いの出会いが、新しい1年のスタートとなりますようお願いいたします。

会長 近藤安弘



つばき会関東支部

11月13日
ホテルはあといん乃木坂(東京都)

53人出席。波田直登支部長(工業昭和41年卒)が「関東支部名簿の約600人のうち出席者は約1割程度。郵送料等のため会則を変更して維持会費(年2,000円)を設けたい」とあいさつ。池田誠次本部長(工業45年卒)から「商業・工業が一緒になって初めての同窓会員名簿が2011年1、2月に発行の予定」とあいさつ。伊藤幸雄さん(工業32年卒)が詩吟披露、酒向徹さん(商業29年卒)がハーモニカ演奏で盛り上がりました。連絡先は波田支部長 049・254・8132



投稿ありがとうございます

萩高10期同窓会

10月24日、25日
平城遷都1300年祭(奈良県)

平成15年より、琵琶湖・箱根・湯田・横浜・有馬と萩以外の開催が続きました。

平成20年の卒後50年の節目の歳は萩で開催。そして昨年は東京、連続8年目の今年には奈良で総勢44名が集い、興福寺で阿修羅像等を鑑賞し東大寺、平城宮跡会場と多くの修学旅行生徒で賑わう奈良の都を観光。学生時代に帰りお互いの旧交を温め、来年開催の萩での再会を約束して新大阪駅で別れました。関西幹事 中山定夫



11月24日、25日

萩商工高商業科昭和33年卒 燦々会

グランドエクシブ初島クラブ(静岡県)



今回は初めて関東にて開催。熱海より船で28分の島。場所柄女性の参加者が多く、華やかな雰囲気の中で豪華に、ゆったりと、秋の夜長を語りを楽しみ、庭園のイルミネーションも印象深く、昼は船より見る富士山。

翌日も好天。箱根観光、十国峠より、雲一つない富士山の眺めを満喫。バスの中では、「箱根八里、紅葉、里の秋、赤とんぼ」を大合唱。少年、少女に戻り、満足満足の2日間。次回は、鹿児島での再会を期して、熱海駅で解散。卯年、年男、年女に幸多きことを祈る。

参加者 33名(男性19名、女性14名) 引受 林口是信

懐かしい店

岡村の蒸気まんじゅう

移動販売



市内で行われるお祭りや縁日、運動会などの各種イベント会場、金谷天神前、北古萩町の保福寺前に移動販売車を走らせ、幕末の黒船到来が由来の萩の伝統のお菓子『蒸気饅頭』を60年にわたり、製造販売されてきた岡村茂作さん（89歳）、トキコさん（88歳）夫婦にお話を聞きました。

戦時中、光市の海軍工場で働き、終戦後地元萩に帰って、土方醤油屋などと職を転々としていました。そんな時、たい焼の機械を買ってくれという話があり、人が饅頭を焼くのを見たとき、「これで商売ができるんじゃないか？」と、思い切ったのが昭和25年、今からちょうど60年前になります。

創業当時は、戦後ということもあって物不足。小豆は手に入りにくい、卵なんてものは使える状態ではなく、餡には、お芋やそら豆を漉して入れたり、生地は炭酸と明礬みょうばんを使っていました。また、焼くのも現在のようにガスではなく、炭で一つ一つ焼いており、焼くのも、袋に詰めるのも苦勞したものです。昨今お客さんに出しているものとは全く違っていましたね。

今となつては、蒸気饅頭屋は数えるほどしか残っておりませんが、昔は同業者が多く存在し、そのよ

うな状況の中、生活のため、子どもを養っていくために、多くを売り上げなくては、人気を集めなくてはと必死で、饅頭屋さん不足を運び、学ばせてもらいながら、試行錯誤を繰り返して、誰もがおいしうと言ってもらえるような蒸気饅頭を作ろうと励みました。また、人気店となるまでは、露店を出せない日は、夫婦揃って木材製造所で働かせてもらい何とか凌いでいた頃もありました。

とはいえ、そんな生活を苦しいと思ったことはないですし、食べた人が、「おいしい！」と言ってくれるのが何よりも嬉しく、もつとおいしい蒸気饅頭を作ろうという活力に変わっていました。唯一辛い事といえば、子どもが「親の職業って何って書いたらええん？」と、自信を持って私達夫婦の職業を人に伝えられないという思いをさせてしまったことです。

子どもたちも社会人となり、お店の方もテレビの取材が来るほど人気を得ることができ、20年くらい前から、祭りで出店すれば、作っても作っても行列が切れず、平日でも必ず売り切れになるほど売れに売れるようになり、蒸気饅頭屋として成功を感じるようになった頃には、市内に蒸気饅頭屋は、一つか二つとなっていました。そして、私たち自身も老いて、いつまで蒸気饅頭屋を続けられる

か？というところまで来てしまいました。まだ若ければいくらでも焼きたいという気持ちはありますが、最近では、足も悪く、長時間営業できなくなりましたし、寒い日は営業自体しておりません。

いつ死んでもおかしくない歳なので、いつまで続けることができるかわかりませんが、生きていく限りは、ウチの蒸気饅頭をまた食べたいというお客さんのために、可能な範囲で作りたいと思います。とはいえ、あと1年半で自動車免許が切れるので、最長でも1年半です。死ぬのが先か、免許が切れるのが先か……。どちらにせよ、多くの方々に「虫屑ひいきにしてもいい60年続いた岡村の蒸気饅頭の歴史はあと僅か。ただただ、長いことご愛ひただきありがとうございます。ありがとうございましたと思うばかりです。



萩焼新進作家 ⑥

城山窯 金子 愛さん (萩市堀内在住、36歳)

職人さんに感謝

萩焼作家・金子信彦の長男として生まれ、多くの萩焼作家同様、萩焼作家の息子ではあるわけですが、父・信彦は自らの窯を持たない城山窯の責任者。窯を継ぐという感覚は無く、職業の選択は自由な環境で育ちました。とはいえ、住まいは城山窯の近くで、幼少期の遊び場はもっぱら城山窯の作業場でした。今思えば、代々萩焼作家という方々と同じといえれば同じ

です。ただ、城山窯は当時若い職人さんが多く、若い職人さんに遊んでもらえるのが楽しく、一緒に萩焼の土で怪獣やカブトムシの粘土細工を作ったり、はたまた週末には職人さんのところへ泊まりに行ったりと、職人さんからすれば邪魔な少年やっただかなと思います。

父の思い

そのような環境で育ったわりには、萩焼が「凄いい好き」というわけでもなく、学生時代は萩焼職



人になろうと思っははいませんでした。かといって何か将来の目標があるわけでもなく、高校も辞めて働こうかなと考えていましたが、当時、父が「遊んでこい！」と言ってくれ、その頃から、父の「萩焼の道に進んでほしい」という気持ちをつつすら感じるようになり、高校3年の頃、萩焼職人になることを決めました。そして高校卒業と同時に、窯の責任者となつていた父の下、城山窯に入社します。

従兄の存在

城山窯の一社員であるわけ、萩焼作家である前に、あくまで萩焼職人。土を練り、同じ形のものを作山作れるか？目の前にある課題をこなして、職人として戦力となるのが先ず求められます。もちろん自分の作りたいものを作るにも基本をしっかり身に付けないとできないわけで、そういう意味では、職人も作家も変わりはないのでしようが、自分的に何となく違う意識でした。

初めて自分の名前で作品を出し



たのが2001年。自分の名前前で作品を出すからには、金子愛オリジナルを追い求めなくてはならなくなり、作家の部分も抱えるようになります。金子愛らしい作品を考えたとき、自分が作りたいと思うものに従順であろうということと、萩焼っぽいと言われるのは嫌だなと考えました。そう考えるようになったのは、4つ年上の従兄で萩焼作家の司くん(金子司氏)の影響だと思ひます。司くんには焼物だけでなく、ファッションや色々なものに影響を受けています。

危険

90代でも半現役、40代は若手と言われる世界ですので、僕なんかは、萩焼を語るのもおこがましいのですが、萩焼の将来を考えると結構厳しいと感じています。萩焼は萩の工芸品でありながら、地元の人が好んで使わない。「100均でいいや」と言う人が多い。それは結構致命的なんじゃないかなと思うんです。ファストフード、ファミレスばかりにお客が入つ

て、地元飲食店がどんどん少なくなる。同じように窯元もずつと存在するとは限らないと。そう思うと、萩焼の世界においても、古いものを大切にすることも大事だけど、それに馴染める新しいものを取り入れることも重要だと感じます。

「100均もあるけど、それでも萩焼が良い！」と地元の人が好んで使ってくれるような萩焼を作る作家、職人になりたいです。

プロフィール

1974年生まれ。93年卒高
等学校卒業後、城山窯に入社

【出展経歴】01年、陶2001

04年グループ展Switch

05年、お引越し展

06年、3人展、萩陶芸家協会展

07年、3人展、個展

08年、萩・韓国現代陶芸交流展

09年、個展、薩長連合展

◎城山窯

住所：萩市堀内46712

☎08388・25・1666、F

A X 08388・22・5894

萩高新聞
創刊60周年
記念

新聞部OB会 「せんだんの会」

11月13日(土) 午後萩本陣にて、萩高新聞創刊60周年を記念して、新聞部のOB会である「せんだんの会」が吉村萩高校長、野村萩市長を来賓に迎え開催された。参加者は、萩が18名、各地から18名、最年長は萩高6期生(昭和29年卒)、最年少は27期(50年卒)であった。

せんだんの会は、40年ほど中断していたが、川瀬正臣さん(16期)

のお世話で平成19年、21年と東京で再開され、このたび初の萩での開催となった。

会は、来賓挨拶のあと河野千敏さん(6期)の乾杯で幕を開けた。今回世話人代表の小嶋靖之さん(14期)と、東京から参加した一來毅さん(14期)が演台に立ち、OB会は昭和35年当時の顧問であった大一中先生の発案で、大学生や社会人になった先輩と、現役員との交流会として始まった。命名は自分たちに任せられ、グラウンドに今でもそびえる梅檀(せんだん)の大木を見て「梅檀は双葉より芳し」から取ったことが披露された。また、「先輩と談ずる」の意味も込められたと伝えられている。会は、当時の思い出や近況報告で盛り上がり、2次会まで続いた。次回は、現役生にも会って檄を飛ばしたいとの意見も出されていた。

会に先立ち、創刊から現在まで保存されている萩高新聞が閲覧に供され、自分の書いた記事を見つけて歓声をあげ、小倉、下関、宇部、萩と変わってきた印刷所の変遷や、模擬試験の成績まで載せていた時代を思い出しながら、皆で懐かしんでいた。

前田信太郎(昭和41年卒、18期)

萩博物館だより

(00838・2506447)

なつかしい

日本のふるさと・萩

1930年代の

映像・絵画から

4月10日(日)まで

「美しい日本の町」、「なつかしい日本のふるさと」と形容される「まち」萩は、どのようにして形作られ、人々はどのように暮らしてきたのでしょうか。1930年前後の映像や絵画などから、私たちのふるさとの原

型を探ります。

昭和10年開催の「萩史蹟産業大博覧会」や「田町商店街・商店・山陰本線SL列車」、「双葉幼稚園運動会」を撮影した映画

のデジタル映像が上映されます。

映像の中では、市内の商家・旅館等が紹介されています。

高木、田坂屋旅館(好日館)、高原洋品店、河村歯科医院、河村洋服店、白銀書店、八木雑貨店、三ツ石呉服店、風月堂、一馬本店、土田梅吉商店、カフェパリ、中村酒場、料亭梅月、岩崎酒場、南条呉服店

■観覧料 大人500円、高・大学生300円、小・中学生

型を探ります。

100円

■休館日 なし

※年末年始も休まず開館。

■駐車場 300円(普通自動車)



昭和11~12年撮影「双葉幼稚園運動会」映画

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

(00838・242400)

第4回山口県

総合芸術文化祭参加

現在形の陶芸

萩大賞展2010

1月16日(日)まで

全国公募された作品の選抜展。山口県内68人、県外75人、国外10人の計153人から1966点の応募があり、入選作品109点を展示します。

■観覧料 一般500円、70歳



萩大賞「風伯」
ふしかさ とうこ
藤笠砂都子
(東京都、宇部市出身)

【受賞者の声】
人は絶え間なく変化する風のように、流れの中で生きています。そのような流れ(風)をどこかで操る者がいるとすれば…心に風を感じて頂ければ幸いです。

2月1日(火)~3月6日(日)

●普通展示(東洋陶磁)

「中国・朝鮮古陶磁の美Ⅲ」1月2日(日)~3月6日(日)

●普通展示(陶芸1・2)

「三輪休雪のかたち」4月17日(日)まで、「萩焼の茶碗」1月18日(火)~4月3日(日)

●普通展示(浮世絵)

「尾形月耕の美人画」1月2日(日)~30日(日)、「落首芳幾の世界」

12月27日(月)~1月1日(土・祝)

※1月17日(月)から、特別展示はお休み。

●普通展示(浮世絵)

情報アラカルト

関東地区

- 萩ガラス工房 東京地区展示会
○NIPPON MONO IC
H-「萩ガラス展」
1月26日(水)～2月28日(月)
東京都中央区日本橋2・4・1
高島屋日本橋本店7F特撰和食器
売場 (03・3211・4111)
2月16日(水)～28日(月)
東京都渋谷区千駄ヶ谷5・24・2
高島屋新宿店10Fリビング特設売
場 (03・5361・1111)
○NIPPON MONO IC
H- 第6回和のある暮らしの力
タチ展・「萩ガラス」
2月18日(金)～20日(日)
東京都千代田区丸の内3・5・1
有楽町・東京国際フォーラムBF
1ロビー
(03・5221・9000)
- ※会場にて萩ガラスに、ロゴや直
筆の名入れのワークショップを開
催
(問) 萩ガラス工房
(08388・26・2555)
- 伝統的工芸品展WAZA
2011
萩焼をはじめとする日本の伝統
工芸品が一堂に会し、展示・販売。
2月24日(木)～3月1日(火)
東京都豊島区西池袋1・1・25

東武百貨店池袋店

(03・3981・2211)

■おいでませ山口館のイベント

○やまぐち新酒フェア
萩の酒造も出展します。
3月前半
東京都中央区日本橋2・3・4日
本橋プラザビル1階 おいでませ
山口館(03・3722・3510)

関西地区

- 金子信彦 作陶展
1月19日(水)～26日(水)
大阪府大阪市北区角田町8番7号
大阪阪急百貨店
(06・6361・1381)
- 日比みのる 水彩画展
兵庫県在住、萩高昭和26年卒の
日比稔さんの水彩画展です。
1月13日(木)～18日(火) 午前
10時30分～午後6時30分
兵庫県伊丹市東有岡1丁目6・2
伊丹市立美術ギャラリー(JR伊
丹駅構内)
- 内村幹雄作陶展
1月12日(水)～18日(火)
岡山県岡山市北区表町2・1・1
天満屋岡山店
(086・231・7111)
- 広島市現代美術館オープン・プ
ログラム「きのこアート研究所」
展
金子司の作品が展示されます。
2月24日(木)まで
広島県広島市南区比治山公園1・
1 広島市現代美術館
(082・264・1121)
- 次代を担う萩焼作家5人展
岡田泰、兼田知明、厚東孝明、
吉野桃李、松野創平の作品が展示
されます。
1月20日(木)～26日(水)
島根県松江市朝日町661
松江一畑百貨店
(0852・55・2500)
- 水津和之作陶展
2月9日(水)～15日(火)
岡山県岡山市北区表町2・1・1
天満屋岡山店
(086・231・7111)

山口県関係

- 「たちばな会・からたち会・巴城
会合同懇親会」
下関地区の萩商工、萩高の合同
総会。
1月22日(土) 午後6時30分～
下関市彦島西山町 南風泊 漁港
活魚センター
(問) 事務局長 原嘉昭
(090・4652・5028)
- 第2回頌美展(山口芸術短期大
学卒業生作品展)
萩市出身の船崎透さんの陶芸
戸嶋由香さんの版画が出品されま
す。

萩市関係

- アートショップTAZZ企画展
○アルパカ×手仕事
ニット製品の販売をします。
1月2日(日)～10日(月・祝)
萩市東田町144
アートショップTAZZ
(08388・26・6020)
- 藤崎恒頼 新作油彩展
1月13日(木)～18日(火)
萩市江向440・1 萩郵便局コ
ミュニティルーム
- 松前ひろ子コンサート
萩観光大使・松前ひろ子さんの
萩を題材とした新曲「萩みれん」
の新曲発表記念コンサート。

第57回日本伝統工芸展

- 陶芸家 岡田裕、岡田泰、兼
田知明、玉村登陽、波多野善蔵、
波多野英生、松尾藻風、松尾優
子の作品が入選しました。
- ◆高松展 1月2日(日)～16
日(日) 香川県立ミュージアム
 - ◆広島展 1月19日(水)～2
月6日(日) 広島県立美術館
 - ◆福岡展 2月9日(水)～14
日(月) 岩田屋本店
 - ◆松山展 2月22日(火)～28
日(月) 三越松山店
 - ◆大阪展 3月10日(木)～15
日(火) 大丸大阪心斎橋店

7ページで紹介

- 1月29日(土) 午後1時30分～3
時30分
萩市江向495・4 萩市民館
前売券2500円(新曲CD付)
当日券3000円
- 前売券取扱所 アトラス萩店、サ
ンリブ萩店、萩市役所案内係
(問) 萩市観光協会
(08388・25・1750)
- 世界遺産フォーラムin萩
世界遺産分野において世界的に
も第一人者である2人の専門家に
よる基調講演などを通して、世界
の動向や日本の動向、萩の産業遺
産などに対する理解を深める。
2月21日(月) 午後6時～8時30

分

萩市椿東358・8 萩本陣

講演者 松浦晃一郎(ユネスコ前

事務局長、徳地町出身)、ニール・

コソソ卿(英国イングリッシュ・

ヘリテージ前総裁)

内容 講演、パネルディスカッ

ション

(問) 萩市世界遺産推進課

(08388・255・3380)

■萩焼きやらしい彩陶庵の企画展

○中土井律子 個展

3月12日(土)〜21日(月・祝)

午前9時30分〜午後5時30分

萩市呉服町1・3 彩陶庵

(08388・255・3110)

■俣宿天十平の企画展

●京都の陶芸家清水善行の作品展

3月26日(土)〜4月3日(日)

萩市南古萩町33・5 俣宿天十平

(08388・266・6474)

テレビ情報

■フジテレビ金曜「フレスター」

『浅見光彦シリーズ39「遺骨」』

タレントの中村俊介(浅見光彦

役)、原史奈(森恵子役)が出演

萩市の窯元(野坂窯)や城下町、

菊ヶ浜で撮影が行われました。

放送予定日 1月14日(金)午後

9時〜10時54分

放送局 フジテレビ系列

■「釣り自慢タレント対抗!冬の

日本海一本釣り勝負!」

釣り自慢タレント3人が山口県

萩市に集合!これが高級魚と思う

魚をそれぞれ狙う、ガチンコ一本

釣り勝負!

タレントの川田広樹(ガレッジ

セール)・つるの剛志・水野裕子

の3人が見島沖でアマダイ、クロ

マグロ、キジハタのブランド魚を

狙って釣りバトルを開催。

放送予定日 1月15日(土)午前

10時30分〜11時25分

放送局 日本テレビ系列22局ネッ

ト



出版情報

■「強くなくていい」「弱くない生

き方」をすばい! 藤原茂著

NHK「プロフェッショナル

仕事の流儀」で紹介され大反響を

呼んだ著者が、心身の「不自由さ」

を幸せに変える「心を鎮ひさせな

い生き方」という逆転の発想を紹

介する。

価格 1575円/215頁

発行 東洋経済新報社

■吉田松陰2011カレンダー

詩文で綴る吉田松陰の生涯。

B3版/13枚綴り

価格 500円

発行 マシヤマ印刷

(08388・222・1103)

2010年 幕末・維新オススメ本

■「伊藤博文くしの政治家」

龍井一博著

伊藤の隠された思想と国家構想

を明らかにする充実の評伝。

若手研究者が受賞することで知

られるサントリー学芸賞を受賞。

発行 中央新書/987円



■「わが夫 坂本龍馬 おりよう

聞き」 一坂太郎著

11月5日に放送されたNHK総

合テレビ「ふるさと発スベシャル

恋女房おりよう 龍馬を語る」で、

女優の富田靖子さんが本書の内容

を朗読。放送の反響も大きく5刷

2万部を出版。また神奈川県須

賀市大津の信楽寺にあるおりよう

の墓への参拝者が増えたそうです。

発行 朝日新書/735円

■「伊藤博文直話」

幕末動乱をくぐりぬけた伊藤が、

自ら語った唯一の「自伝」本。若

き日の武勇伝を得意げに語る「直

談」からは、本人の肉声が直に伝

わってくる。

発行 新人物文庫/700円

九州指月会(萩高同窓会)支部 便り

平成5年に萩中、萩高女、萩高

卒の有志で開始された九州指月会

は、今年20回記念を迎えます。

9月11日(日)に福岡天神で開

催すべく、昭和34年から53年卒か

らなる実行委員会を作って九州在

住の300名の皆様へのご案内の

準備を進めています。萩に関わる

記念事業も企画中です。九州

在住の先輩と平成卒の若い皆様の

参加をお待ちしています。

問い合わせ 会長 藤田博文

(090・6779・7597)

実行委員長・事務局 廣瀬勝彦

(090・8403・7707)

プレゼント

①忠小兵衛蒲鉾本店の「ゆず巻き」

2本セットを10名様。

②萩・井上商店の「しそわかめ」

青ラベルを10名様。(道の駅・萩

往還の提供)



▲化学調味料 不使用の青ラベル

応募方法

ハガキに品名、住所、氏名、電話

番号、近況等を明記のうえ、萩

ネットワーク協会プレゼント係ま

で。1月末日(消印有効)。

新規(再)加入会員

田邊壽男さん (兵庫県伊丹市)

昭和電気工業 (萩市)

末益栄さん (千葉県千葉市)

中村晋さん (千葉県千葉市)

前野弘幸さん(神奈川県相模原市)

藤井卓さん (宇部市)

大田忠幸さん (萩市)

横田佳隆さん (千葉県柏市)

西村範子さん (埼玉県春日部市)

井上優子さん (東京都八王子市)

北原静恵さん (東京都世田谷区)

横山和彦さん (千葉県白井市)

山崎三枝さん (埼玉県春日部市)

奥川妙子さん (東京都清瀬市)

大西敏富さん (神奈川県座間市)

香川勝善さん (埼玉県越谷市)

竹林博文さん (埼玉県所沢市)

藤村義郎さん (埼玉県川越市)

古谷良人さん (千葉県鎌ヶ谷市)

西郷寿さん (埼玉県越谷市)

松浦偉野さん (神奈川県横浜)

吉松悦子さん (神奈川県横浜)

杉谷広美さん (千葉県鴨川市)

益田都さん (東京都世田谷区)

港武さん (東京都国分寺市)

中野タカ子さん(東京都武蔵野市)

浜崎千加子さん (東京都文京区)

(10月27日〜12月24日)27人

萩・まちじゅう 食味めぐり

●問合せ / 萩市観光協会
☎0838・25・1750
★料理は各飲食店により異なります。
写真はイメージです。



キャン
ペーン

萩のあまだい

旬 1月～3月

萩でしか食べられない刺身！
超がつくほどの高級魚。鮮度が命の魚であるため、都市部で刺身を味わうのは困難。
萩では漁場が近いので鮮度がよく美味しい刺身を堪能できます。



萩のしろ魚

旬 2月下旬～3月上旬

伝統漁法も見どころ！萩の珍味
伝統的漁法「四手網」で漁る「しろうお」。活きたまま、すいち(酢醤油)をつけて食べる「おどり食い」を季節料理として2月下旬から3月下旬に味わえます。

萩の真ふぐ

旬 2月上旬～4月上旬
トラフグに負けない味とおトク感！
2月上旬から4月上旬しか味わえない萩の天然真ふぐは、トラフグに負けない味にもかかわらず価格はトラフグの半値以下！萩市内飲食店でおいしく味わえます。



萩温泉郷

湯めぐり

キャン
ペーン

癒

萩市内日帰り協賛入浴施設にて、割引サービス！

- 期間 / 1月～3月
- 場所 / 萩たなかホテル、萩一輪、萩小町、萩の浜、萩本陣・湯の丸、萩グランドホテル 天空、田万川温泉 憩いの湯、萩阿武川温泉 ふれあい会館
- 問合せ / 萩温泉旅館共同組合
☎0838・22・7599

味めぐりキャンペーン 地酒キャンペーン
湯めぐりキャンペーン イベント情報が満載！

萩市観光協会、萩市観光課、東萩駅観光案内所でGETしてぶらりまちあるぎにかけよう！！



お得な
クーポン付き
パスポート
!!

萩の地酒

キャン
ペーン

千春楽、萩たなかホテル、萩本陣、萩小町、萩観光ホテル、常茂恵、高大、萩グランドホテル天空、萩一輪、北門屋敷、雁島別荘にて、夕食時500円で萩の地酒3種類(ホテルによって提供方法は異なります)の萩の地酒試飲セットをご提供します。



- 期間 / 1月～3月
- 場所 / 市内各所
- 料金(要予約) / 1セットお一人様500円
- 提供方法 / 夕食時
- 問合せ / 萩市観光協会
☎0838・25・1750

萩城下の 古き雛たち

萩市内の文化財施設等に江戸から昭和の様々な雛人形を展示。



- 期間 / 2月3日(木)～4月3日(日)
- 場所 / 旧久保田家住宅、菊屋家住宅、萩博物館、青木周彌旧宅、旧湯川家屋敷、旧山中家住宅、梅屋七兵衛旧宅、旧山村家住宅、旧田中別邸、田町商店街
- 問合せ / 萩市観光課 ☎0838・25・3139

郷土料理レシピ ⑧

萩・川上・むつみ・須佐・旭・福栄・阿武町

こおりもち(かきもち)

- 材料(4人分)
- ・餅米 1升
 - ・塩 30～50g
 - ・青海苔、ごま等 適宜

作り方

- ①餅米は、よく洗い、一晩水に浸けて置く。
- ②餅米の水を切り、蒸し器で蒸して餅をつく。(途中で塩、ごま、青海苔等、好みの物を入れてつく)
- ③箱に流し、平らにのぼし、2～3日で薄く切り、2日位寝かして、風のあたらないところで2～3週間位干す。
※かきもちを焼くときは、弱火で気長に焼くとふっくらと火が通って美味しい。

こだわり

萩 塩茶にして食べてもおいしい。昔は食紅が使われていたが現在では自然の物(よもぎ、紫いも・青海苔等)を入れて作っている。



郷土料理豆知識！

寒に入ると作られる保存食で、昔は農繁期など子ども達のおやつとして重宝された。青海苔、豆類、ごまなどを入れて、いろんな味を楽しむことができる。

川上 青海苔やごまを入れる。

須佐 多種の混ぜ物(青海苔、豆類、ごま・・・)を入れ1ヶ月程度は干す。